

# シルバー やまがた

第133号 平成31年1月1日発行

(公社)山形市シルバー人材センター  
正会員数 1,113名 賛助会員 42個人・70団体 (11月30日現在)



重ね扇紅白椿 (南沼原地区 大嶋フミ子さん作品)

## — 内容紹介 —

- P2 新年のご挨拶 (山形市長)  
新年を迎えて (理事長)
- P3 ブロック研修会を開催  
事業普及啓発活動を実施
- P4 剪定講習会を開催  
安全パトロールを実施
- P5 わが街自慢
- P6~7 会員のひろば
- P8 就業会員を訪ねて
- P9 人あり・技あり・心あり  
新入会員紹介
- P10 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



## 事務局だより

(公社)山形市シルバー人材センター  
山形市双葉町一丁目三番三号  
電話(023)647-6647

URL: <http://www.sjc-ne.jp/yamagata/>  
E-mail: [yamagata@sjc-ne.jp](mailto:yamagata@sjc-ne.jp)

### 配分金Ⅱ 所得税法上の取扱い

シルバー人材センターの仕事をして得た『配分金』は所得税法上では「雑所得」として取り扱われますので、課税対象者になると思われる会員の方は各自において最寄りの税務署に申告が必要となります。

受給者の区分	その年中の公的年金等の収入金額(A)	公的年金等控除額
年齢65歳以上の人 (昭和29年1月1日以前に生まれた人)	330万円以下	120万円
	330万円超410万円以下	(A)×25%+37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15%+78万5,000円
年齢65歳未満の人 (昭和29年1月2日以後に生まれた人)	770万円超	(A)×5%+155万5,000円
	130万円以下	70万円
	130万円超410万円以下	(A)×25%+37万5,000円
	410万円超770万円以下	(A)×15%+78万5,000円
	770万円超	(A)×5%+155万5,000円

センターでは、平成三十年分の配分金の合計額を証明する『配分金支払証明書』を発行しますので、必要な方は一月二十五日までに事務所へご連絡下さい。二月一日以降に事務所窓口で交付いたします。また、派遣事業で就業して得た『賃金』は、「給与収入」として取り扱われます。山形県シルバー人材センター連合会より源泉徴収票が送付されます。

『配分金』については、租税特別措置法第二十七条の「家内労働特例」により六十五万円の控除が認められております。配分金以外の収入がない場合には、基礎控除三十八万円を含めて百三万円まで所得税が課税されないこととなります。配分金の他に給与収入がある場合は、六十五万円から給与所得を控除した残額が特例で控除できる金額です。また、公的年金を受給している場合は配分金とは別に所得控除が受けられます。公的年金控除額は上記のとおりです。

なお、配分金収入、給与収入、公的年金収入以外の収入がある場合の所得控除及びその他の控除については、税務署にお尋ねください。

### お知らせと お願い



- 配分金支払日
  - 一月十八日(金)
  - 二月二十日(水)
  - 三月二十日(水)

- 入会説明会(午後一時三十分)
  - 会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。
  - 一月十日(木) 十七日(木)
  - 二十四日(木)
  - 二月七日(木) 十四日(木)
  - 二十一日(木)
  - 三月七日(木) 十四日(木)
  - 十九日(火)

- 就業相談日(午後一時三十分)
  - (就業に関する相談です)
  - 一月十日(木)
  - 二月十四日(木)
  - 三月十四日(木)

### あしがき

会員の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は、皆様には本誌紙面に、寄稿や取材のご協力を頂き、ありがとうございました。広報部会も、会報に皆様の要望や意向を把握し、より分かりやすく、親しみある会報作りに役立てるため、約七年ぶりにアンケート調査と新たにモニター募集を実施しました。新年を迎え、シルバー世代を取り巻く社会環境が、少子高齢化の影響による労働者不足が年々深刻な状況に進む中、人手不足解消に、経験豊富なシルバー会員の皆様に、より社会貢献が求められる時代に入ってきました。時間にゆとりができた人生の後半戦です。健康に留意し、希望の仕事、異なる分野でもやりたい仕事に挑戦し、生き生きと元気に過ごしていきたいと思えます。新しい年も、会員の皆様が希望に満ちた明るい年になりますように祈念します。





### 新年のご挨拶

名誉会長・山形市長 佐藤 孝弘

新年、明けましておめでとうございませう。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

公益社団法人山形市シルバー人材センターにおかれましては、会員の皆様方の豊富な知識や経験・技能等を活かした就業活動やボランティア活動など、多岐にわたる事業を展開され、地域社会の活性化と福祉の増進に大きくご貢献いただいております。長瀬理事長をはじめ会員の皆様に対し、衷心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、現在、少子高齢化が急速に進展する中、将来にわたり社会の活力を維持していくためには、働く意欲をもった高齢者の方々が、年齢にかかわらず社会参加ができる生涯現役社会を実現することが重要となっております。

山形市におきましても、「世界に誇る健康・安心のまち『健康医療先進都市』」の実現に向け、山

形市の実態に基づき、食事(S)、運動(U)、休養(K)、社会(S)、禁煙(K)を柱とするSUSK(スクスク)生活に向けた取り組みをはじめ、様々な施策に取り組んでおります。

このような取り組みを着実に進めていくためには、豊かな知識や技能をお持ちの高齢者の方々の労働力をご提供いただいております。貴センターの役割が、ますます重要になると考えております。会員の皆様方には、本市の高齢者福祉の推進に今後より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、会員の皆様から、これからはますますお元気で活躍されますことを心からご期待申し上げます。

結びに、公益社団法人山形市シルバー人材センターのますますのご発展と、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた明るい一年になりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



### 新年を迎えて

理事長 長瀬 洋男

新年、明けましておめでとうございませう。旧年中は、会員の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、人口の高齢化が進展する中、国の骨太の方針二〇一八では、六十五歳以上を一律に高齢者と見るのは現実的ではなく、全ての世代の人々が、希望に応じて活躍できるエイジフリーの社会を目指すとし、多様な就業の選択肢の拡大を掲げ、継続雇用年齢の引き上げに向けて検討を開始するとしております。

一方、全国のシルバー会員は漸減の状況にあることから、全国シルバー人材センター事業協会では第二次会員一〇〇万人達成計画を推進しており、当センターでも協調して、目標を目指し会員の拡大に取り組んでいるところであります。幸い当センターは近年、会員は増加傾向にあり、平成三十年十一月末

現在で二・一三人になりました。会員の皆様には引き続き「一・一運動」の推進にご協力くださるようお願いいたします。

当センターの今年の事業実績は、請負はおかげさまで昨年を上回る状況にあり、派遣は昨年を若干下回る状況ですが、新規就業開拓により受注件数は増えております。これも偏に会員の皆様方の日頃のご精勤の賜物と存じます。今後ともご協力の程お願いいたします。

また、当センターでは二十九年度から三年間の予定で、「やまがた生涯現役促進地域連携事業」を、市や関係機関の皆様とともに実施しており、就業相談窓口の開設、産直市の運営、企業や高齢者向けのセミナー等を開催しておりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

今年も平成としては区切りの年となります。皆様の益々のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

## ブロック研修会を開催

総務部会長 本木 康晴

総務部の事業計画の最大のイベントは、ブロック研修会です。今年も全国的に地震や台風、大雨などの災害が多かった年。「山形市防災対策課の出前講演」に決めました。部会員の町内会の講演が好評だったとのこと。研修会は十一月二十日・二十二日に開催。

参加者は延べ四一七名と、まずまずでした。研修会のテーマは「おらの町は、おらだて守る！」(自助・共助について) (講師 山形市防災対策課・防災アドバイザー 佐藤 明氏) 研修内容は、「災害に備えておこう」でした。

災害は、私たちの住む山形市でも、いつ起こるか分かりません。災害から命を守るためには、日ごろの備えが大切です。

災害に対する対策は…!? 『自助』↓『自分のことは自分で守る』 『共助』↓『自分たちの町は自分た



ブロック研修会

ちで守る」

「日ごろの備え」として、災害ハザードマップ(市役所ホームページ)を確認し、非常持出品・備蓄品(最低三日間程度)の物資を準備しておきましょう。

もしも、災害が起きたときは、あわてずに行動し、自分や家族を守ることを、ご近所のみならず助け合うことを心がけましょう。次回の研修会も、会員の皆様のご参加よろしくお願ひ申し上げます。

## 事業普及啓発活動を実施

広報部会長 佐藤 明

十月の全国一斉シルバー事業普及啓発促進月間において、次の普及啓発活動を実施しました。

### 役員による街頭啓発活動

十月二十三日(火)、イオン山形南店・北店恒例の「火曜日」に合わせて役員、専門部会員三十一名が十時から十一時までPRチラシを配布しながらセンターの事業紹介と会員の入会勧誘を行いました。

当日は秋晴れにめぐまれ来店者も多く、約千二百枚のチラシは一時間足らずで配布終了。山形新聞社の取材も入り、記事掲載は良いPRとなりました。

### 会員による清掃奉仕活動

十月三十一日(水)、山形駅西地区の清掃活動を行いました。当日八十五名の会員が四班に分れ十時から約一時間、道路沿いの清掃を行いました。また、各地区研修会に



清掃奉仕活動



# 剪定講習会を開催

十月十日から十二日までの三日間において、平成三十年度山形県高齢者就労活性化事業「剪定講習会」を開催しました。

この事業については、シルバー会員の就業先の選抜拡大を目的としており、今回の講習は、剪定に興味がある方を対象に十二名の会員の方にご参加いただきました。講習内容は、剪定の基礎と雪囲いの基礎における講義及び実技を行いました。講習は、有限会社山村造苑の山村正作氏を講師に迎え、樹木との向き合い方や剪定する際のポイントなど、会員に解り易く丁寧な教えて頂きました。受講した会員も最初は苦戦しながらも、徐々に自信をもって行えるようになっていたようでした。

この講習を機に、ご自宅での作業やセンター就業における剪定作業時に、今回の講習で学んだことをぜひ活かしていただきたいと思います。皆さんの周りで、剪定作業を希望される方がいらっしやいましたら、ぜひ入会を勧めて頂きますようお願いいたします。



会場の山形県みどり推進機構

# 抜き打ち安全。パトロール実施報告

安全就業推進委員長 樋口 健一

秋の安全パトロールは、事前にパトロールの日時等を会員に連絡せずに、十一月五日から七日の三日間「抜き打ち」で、派遣事業所も含めた屋内作業関係を重点的に実施しました。派遣業務先はスーパーの品出し及び陳列業務と請負業務先は駐車場管理と施設の清掃関係の就業先九カ所について安全就業を徹底しているかの確認を行い、会員に対する安全就業の指導を行いました。

スーパーの品出し陳列作業については、安全対策として重量物運搬と陳列には最善の注意をするよう指導と対応マナーの意識向上と他のパート社員との連絡を取り合うよう、指導しました。駐車場管理業務で立体駐車場については、巡回時にスロープ箇所の凍結が予測できることから転倒に十分注意するよう、指導をしました。施設の清掃業務については、仲間と声を掛け合いながら作業するように、指導を行いました。全てのパトロール先の会員には、冬場に向かい車間距離を保ち余裕をもった運転をすること、徒歩での通勤には凍結道路での転倒に注意するよう、指導しました。

最後に、会員の協力と努力もあり「事故ゼロ」を維持しています。更に「ゼロ」を継続するためにも事務局と委員が心して活動を展開していきまので、会員の皆様も「安全第一」を心掛け、初心に帰り就業をお願いします。



駐車場管理のパトロール

# 南沼原地区

帯刀 楯夫

東京の三鷹市より山形市に転居して早や四年半。四季折々の自然の美しさ豊かさに浸る日々。居を構える南沼原地区は市の南西部に位置し、住宅、商業地として都市化が進む。古くは街道筋の集落として発展し、山形市と上山、置賜地方を結ぶ交通の要所であると共に、山形城下町の守りの前線地区であったと往時を偲ぶ。四百年ほど前の徳川方の最上義光と豊臣方の直江兼続との長谷堂合戦の戦場を背後に、城下に戻る最上軍の戦勝街道のロマンすら感じ

る。南沼原地区は県道五十一号線（別名西バイパス）南館交差点を中心とした東西南北に約一キロで、西は奥羽本線山形新幹線を境界としたエリアである。その交差点に建つ南沼原小学校は明治三十六年（一九〇三年）に創立し、今年で創立一一五年、県内最大の児童数

を誇る長い歴史を刻む学校である。自宅近くにはイオンモール山形南店を始めとした大型店舗が建ち並び、全く不自由はない。少なくとも東京の三鷹駅周辺より便利な上に混雑もない。早朝に愛犬と自宅周辺を散歩するが、吉原の鎮守の神、水分（みくまり）神社で家族の安寧を祈願するのが日課。「歴史とロマン、活気に満ちた街」南沼原地区の人口は現在約一八、〇〇〇人。山形市に併合した一九六四年の六倍に上る。これからも健全で緩やかな発展を期待したい。



吉原の水分神社

# わが街自慢

# 鈴川三地区

杵淵 勝利

わが地区は二口橋より大野目交差点までの、ときめき通りと山寺街道の間に印役・花楯・鈴川・五十鈴の五つのエリアからなっております。昭和四十五年ころの都市計画により水田風景は一変して住宅地となり、急激な人口増となり、第四中学校跡に東小が新設されました。現在は各種の開業医は二十三、スーパーは四、各銀行の支店は四、ドラッグストア、ホームセンターにコンビニは三、幼稚園、保育園と東部交番所に高齢者介護の敬寿園があり近くにはスポーツセンター、市営野球場、スケート場等があり

ます。バスは一時おきに二路線で運行され、市街地に行くにも便利で高速道路に乗るにも近い地区です。印役を除いては新興住宅地のため、名所旧跡は無い地区ですが、小中学校、幼稚園が近く、歩いて行けるスーパーに医院と多く何かにつけて便利の良い地域です。日常生活を営むには環境に恵まれた地区であると、誇りに思うことがわが街の自慢です。

# 地域紹介



市営野球場とスポーツセンター



ときめき通り



郷土史



第二地区  
川井 幸雄

子供の時から本が好きで、いろんな本を読んでいたが、特に推理小説や伝記ものを好んで読んでいた。

それが現在、郷土史に興味を持つ事につながったのではなからうかと思う。

郷土史は地元の歴史を調べる事であるが、最初は本屋や図書館で郷土の偉人が書き示されている書籍から最上義光の人物像と功績に興味を持ち、義光に関する講演会

等に参加して、より深く知るようになり、今では博物館や郷土館に何度も足を運び義光一人だけでなく、当時置かれていた立場や人間関係など調べれば調べる程、興味深い。

余談だが郷土史をやっている中で地域の寺社に立ち寄ることがあり、今はやりのご朱印を集めて、市内の神社のご朱印は、ほとんど集まった。

去年より西部公民館地区郷土史愛好会に入会させて頂き、貴重な研究を諸先輩より勉強させていただき、益々興味深くしているところであります。

冒頭に推理小説のことを出したのは、四百年以上も前の人物を見ることができないが、史料を紐解いて、なぜ、このような事が起きたのか、前後の事柄や時代背景などを推理する事が共通するのではないかと、思ったからです。

シルバー会員の諸先輩方にも郷土史の研究をされている方がいらつしやると思っています。講演会でお会いすることがあった時は意見の交換ができれば幸いです。

退職、孫たちとの別れ



第九地区  
鈴木 善美

平成三十年三月、四十七年務めた会社を退職しました。我が家近くのイオン北店で活躍中の先輩を時々見かけては、先をを考えていました。

それでも、四月からは近居している五歳と三歳の孫達と遊べるな、などと気楽に考えていました。ところが、急に長男の隣県への転勤が決まり、甘い考えは通用しなくなりました。本当に良くなつてくれた孫達との別れの知らせは、妻と共に落ち込み、数え切れない思い出をたどっていました。

二月末から長男家族の会社、孫の幼稚園の関係で、三度に別れて山形を離れることになりました。最初に下の孫が発発するときの大泣きは、ずっと頭から離れませんでした。幼稚園の年中の孫は最後に残り、妻と分担しての送り迎えは楽しくもあり、寂しくなる思いも

したものでした。孫達は新しい幼稚園でスタート、負けないよう週一〜二日の仕事をし、「泊りに行くよ」の声を待っています。

シルバーサイクリング



南沼原地区  
成田 巖

六十五歳の時、若い頃の趣味だったサイクリングに再挑戦し、シルバー世代として最上三十三観音巡礼をテーマに走り始めました。

三十三観音は上山から最上郡鮎川村まで点在していて、本来は最初から最後まで連続して巡るのが基本とされていますが、私は天気の良い休日に限り、自転車で日帰り可能なルートを選んで続けています。

巡礼の作法などにはあまりとらわれずに、まず自転車で観音堂に行きつくこと。そして観音様に手を合わせて「南無観世音菩薩」とブツブツ唱えて、ご朱印をいただ

# 多員のひろば

健康・趣味・つながり

きます。

巡礼は苦しいこともありすが、修行と思つてありがたく受け取ることとされています。サイクリングで最大の試練は上り坂です。観音堂へは主要道から外れて高い場所に登って行くことが多く、自転車で登るのは容易ではあ



五十澤観音堂の前にて

病気になる！ 得た事



南沼原地区  
小笠原 洋一

りませんが、これが修行なのかなと思ひ頑張つて登ります。

これまで第三十番の丹生村観音まで巡りましたが、残りも焦らずじっくりと続けたいと思います。

今から十二年前になりますが、胃癌が見つかり更に腹膜転移があり腹水に癌細胞が散り拡がり腸全体に癌細胞がはびこり、五年生存率一〇％と診断を受けました。治療は先生に一任し自分にできる唯一の方法は、新陳代謝を活発にし、免疫力を高めて抗癌剤の副作用をいかに軽減するか、食生活は、野菜・魚肉等のバランスをとり適切な運動としてジョギング、又飲酒も、従来通り継続しました。

薬の副作用は味覚嗅覚が全く無く倦怠感も激しく食欲もなく連日フラフラ状態でした。一年二年と経過し五年目に入った頃に先生から「億の宝くじに当たったより、

退職、孫たちとの別れ



西部地区  
高野 昭英

「スキーは楽しい」毎年スキーシーズンになると、そう思いながらスキー滑降を楽しんでいます。

私が二十代後半の頃、冬のメジャースポーツとして家族や職場の仲間、友人等、多くの皆さんがスキーを楽しんでいました。スキー場までの道路の大渋滞、駐車場の順番待ち、リフト待ち、ゲレンデの人の多さなど、目に見えるような光景が浮かんできます。

その頃、私もスキーが上手になりたいとの思いで職場の仲間と土

もつとすごいんだよ、小笠原さん」と言われて更に驚き、先生と喜びを分かち合ったことを思い出します。そして現在に至り健康の大切さをしみじみと感じ、又仕事のありがたみに深く感謝しつつ、業務の貢献に従事して参りたいと思っています。

生涯スポーツスキーは楽しい！



西部地区  
高野 昭英

日はもちろん、平日のナイターまで足を運びスキーを楽しみました。仲間からの指導もあり、大回り、小回りターンなど滑る度に上達するのが楽しくて仕方がありませんでした。(今で言うハマりです。)

その後、職場のスキー部に入部し、指導員資格を取得して指導の道に進み、今も小学生から一般までの指導と、自分なりに楽しむスキーを続けています。変化にとんだ山岳コースを滑り降りるのはとても楽しく爽快です。

近年、スキー人口は年々減り続け、当時の混雑したスキー場の活気ある風景はなくて残念ですが、皆さんも青春時代を思い出し、雪面と風を切る感覚を楽しんでみませんか。



蔵王中央ゲレンデ



### 佐藤 和男 襖班

あかねヶ丘のシルバー人材センター作業所を訪問し、お忙しい中、襖班リーダーの佐藤和男さんにお話しを伺いました。

班メンバーは現在男性七名とのこと。「皆さんは過去に豊富な知識と経験がおりの方々ばかり」と思い込んでいましたが、さにあらず。初めて班に加わった時は、全員が未経験者であったと伺い、あまりの驚きに、失礼ながらも一度聞き返してしまいました。

この技能集団は、新人教育を先輩方がイチから行い、月日を重ねる中、市販の道具を自ら創意工夫・加工し、技を磨いてきた「匠」の集まりだったのです。

張り替えの腕が一人前になるには、障子で二〜三カ月、襖で二〜三年かかるそうです。日々の研鑽がいかにたいせつ

かは何事につけても同じとはいえ、その努力にはただただ頭の下がる思いです。目の前で見る流れるような無駄のない動きと、仕上がりの早さ・見事さには、言葉で忘れ感動すら覚えました。最大の繁忙期は十月〜十一月、新しい年を迎える前に自宅のしつらえを整えたいという思いがその理由なのでしょう。



作業中の佐藤さん

### シルバーに 人あり 技あり 心あり

#### 作品に心をこめて



南沼原地区  
大嶋 フミ子

当シルバーに入会して二十四年、親子で会員の大嶋フミ子さんに、本号の表紙を飾ってある押絵等の作品を見せて頂きながらお話を伺いました。

高校や専門学校で洋裁を学び、いつしか身の回りの小物や人形、押絵等を創作。主に手元の布を利用。押絵等の材料はセツトで通信販売から取り寄せる。時には友人から大量の布を頂く事も。押絵は堅い台紙に多彩な布を貼り付け、絵の様な仕上がりの作品。

のりは気温で付き具合が違う為、季節の温度を意識して準備し、一気に仕上げる。

一日の大半を座りっぱなしになりがちで、指先や腰に痛みが出て、作品を手にした方に喜んでもらえる楽しみには変えられない。

互助会の文化祭に優先出品し、他は知人や友人、家族等へプレゼントしている。大きな作品を出品していた頃は好評で、自宅保管していた物を追加提供した事も。最近では小物中心。先日、友人家族の安産お見舞に御守りを差し上げたところ翌日に孫が無事誕生。長年やって来た事が報われた思いをしたとの事。

平坦な事ばかりではなかったけれど、健康の為にラジオ体操や歩きを欠かさず、今は娘四人、孫八人、ひ孫十二人。和やかな大家族との同居を話される大嶋さんは九十歳。柔和な笑顔は輝いて見えました。(取材・広報部)



## ◆◆◆◆◆ 就業会員を訪ねて ◆◆◆◆◆

### 岸 清司 ユトリアケアセンターなりさわ

成沢西のユトリアケアセンターなりさわ(社会福祉法人ユトリア会)を訪ねました。

川内施設長より事業概略等(地域密着型特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所)の説明を受けました。会員の業務内容は宿直業務です。就業時間は十七時三十分より翌朝八時三十分まで。途中仮眠時間があり、会員三名で年中無休の交代勤務です。会員の岸さんを訪ね内容を尋ねました。業務開始後引継ぎ事項や電話・来客者(面会人、業者)の入退室管理。施設内を巡回し設備機器や照明・冷暖房機をオプし、玄関等施設する。翌朝、定時巡回し設備機器等のスイッチオンや新聞配布、清掃を行う。会員同士で全員がそろうのは年一・二回(防火訓練・予防接種)とのこと。仮眠時は仕事の最中

であり熟睡はできないことが悩みです。他施設での六年の経験を踏まえ、当なりさわ開設当初より就業しています。大切なことは、分け隔たりなく、みんなと対等に接することで人との繋がりがや話題が豊富になります。今後も笑顔を大切に頑張りますとのことでした。玄関先には花卉・山野草等(岸さん作)が飾られ、職員や入居者の方の心身を和ませていました。(取材・広報部)



受付に立つ岸さん

## 新入会員紹介

第一地区	阿曾 哲朗	飯塚・榎沢地区	高橋 重勝
第二地区	木川 四郎	滝山二地区	伊藤幸二郎
第三地区	片桐 和敏	出羽・明治地区	今井 善彦
第四地区	荒井千代亀	金井地区	岡辻 博
第五地区	菊地 摂子	山寺・高瀬地区	小山 弘子
第六地区	佐藤 昭子	蔵王地区	多田 正己
第七地区	岡田 武彦	南山形・本沢地区	小林 和子
第八地区	矢作 節子	南沼原地区	渡部 洋
第九地区	大平 芳光	阿部まち子	佐藤 照子
第十地区	多田 文穂	長岡 好子	渡部 洋
鈴川二地区	佐々木澄夫	日詰 和子	小関 誠
鈴川三地区	佐藤 伸一	中島 峯子	山田 静子
飯塚・榎沢地区	岩井 文子	石井 郁子	遠藤 久子
	海鋒 敏広	大嶋 亮爾	阿部まち子
	長岡 久治	田中 博	長岡 好子
	門間富美子	阿部 良一	日詰 和子
	田中 敏夫	粕谷 藤男	中島 峯子
	佐藤 隆	井上 盛雄	石井 郁子
	三沢 佳子	渡邊 勇逸	大嶋 亮爾
	星 忠一		田中 博
	橋本 一政		阿部 良一
	林 はるゑ		粕谷 藤男
			井上 盛雄
			渡邊 勇逸